



# 第 17 号

発行  
社団法人 和歌山県青少年育成協会

〒640-8319  
和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8階  
和歌山県青少年活動センター内  
TEL 073-435-5236  
FAX 073-435-5238  
<http://www.cypress.ne.jp/wakatsu/>

## 目次

青少年活動センター利用促進事業 ……………1	地域活性化支援事業 ……………6
「家庭の日」啓発促進事業 ……………2	地域指導者研修会・表彰関係等 ……………7
わかやまキッズふるさと資源体験隊 ……………3	平成21年度事業予定等 ……………8
「少年メッセージ2008」和歌山県大会……………4、5	

## 平成20年度 青少年活動センター利用促進事業

月によって講座の内容を変えて実施!  
多くの青少年団体との連携で実現しています!!

### 実施協力団体

- (社)ガールスカウト日本連盟和歌山県支部
- 日本ボーイスカウト和歌山連盟
- 海友会和歌山ブロック
- 和歌山県BBS連盟
- 「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会
- NPO法人トライ
- おはなしボランティアきいちご
- 和歌山県シニアリーダーズクラブHOPE
- 和歌山県青少年育成アドバイザー会



今年度で3年目を迎え、昨年度より多くの団体にご協力いただき、さらにバラエティ豊かに内容を変える事ができました。

その月によって、青少年指導者、保護者、小学生など、様々な立場から参加していただくことができ、実施協力団体の皆さんも、普段では関われない方との交流にやりがいを感じていました。



当協会では、今後も「楽しんで学べる」ような様々な事業を実施します！  
ぜひ皆様にご参加ください。

### ☆今年度も開講☆

#### 「家族そろって新入生～親も学ぼうセミナー～」



#### 保護者同士の学びの場、交流の場を

当協会が作成した小学校新入生の保護者のためのリーフレット「家族そろって新入生」を活用し、内容についてさらに理解を深めていただきました。

- 3月** 入学前に考えてみよう…  
「今の学校ってどんなとこかな? (まなび)」  
講師: 宮前小学校 北山智香子 教諭
- 4月** 就学前のからだづくりはできてるかな?  
「強い意志を宿すからだづくりを (からだ)」  
講師: 和歌山信愛女子短期大学 室みどり 教授
- 5月** 親子のコミュニケーション大丈夫?  
「心の栄養、親子の対話 (こころ)」  
講師: 和歌山大学教育学部学校教育 米澤好史 教授

各回でグループに分かれて、各ご家庭での親子の関わり方等について、子育ての情報交換を実施しました。

来年度には出張セミナーを各地方で実施する予定です!

# 「家庭の日」啓発促進事業

和歌山県では、「ふれあいとやすらぎのある家庭づくり」を推進することを目的に、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、啓発活動を行っています。

## 平成20年度「家庭の日」推進事業絵画・標語優秀作品

### 今年も温もりや優しさがいっぱい感じられる作品が勢ぞろい

### 絵画の部

#### ●ふれあい賞



「家庭の日」

たいら まや  
平 真耶(新宮市立熊野川小学校3年)

#### ●ファミリー賞



「ファミリーそうじ」

たかがき まなほ  
高垣 愛穂(海南市立大東小学校5年)

#### ●やすらぎ賞



「ふれあいとやすらぎのある家庭づくり」

きのした りく  
木下 陸(御坊市立湯川小学校1年)

### 標語の部

●ファミリー賞 命はね 家族がくれた 宝物

うしろ たいき  
後 泰希(有田川町立石垣小学校4年)

●ふれあい賞 すみません ただいま私 反抗期

とりい ちはる  
鳥居 千晴(日高川町立早蘇中学校2年)

●やすらぎ賞 留守番で 気付く家族の にぎやかさ

みやざき あやか  
宮崎 綾香(和歌山市立加太中学校3年)

### 「家族そろって新入生」

小学校に入学する直前のお子さんのいるご家庭にお配りしているリーフレット。

和歌山大学米澤好史教授や信愛女子短期大学室みどり教授、その他経験豊かな編集委員の先生にご協力いただき3年目となりました。

「保護者の方も、不安になることなく子どもと一緒に新しい環境へ踏み出せるように」という熱い思いが込められています。



それぞれの「家庭の日」  
それぞれの「ご家庭に」

### 「家族のふれあい優待制度」

「家庭の日」などに協賛店舗に優待券を持って行けば、様々な特典が…



家庭では団らんの機会をもっといただくきっかけに、協賛して下さった店舗の方々には子どもたちを温かく見守るきっかけとなっています。この制度を活用して、家庭での話題を広げてみませんか？

詳しい店舗や特典の内容は、当協会ホームページ「家庭の日特設ページ」で、お確かめください。

平成20年度 青少年「元気と歌山」未来づくり事業  
**わかやまキッズふるさと資源体験隊**

県内8地方で、小学校5年生～中学生を対象に  
 わかやまの資源である文化の魅力や自然の素晴らしさを感じてもらう機会を!!  
 夏休みと春休みに、地域の持ち味を活かしたプログラムで2泊3日の宿泊体験を実施しました。

**和歌山市** 平成20年8月8日～10日

竹とんぼ作りやよさこい踊り等、普段できないような体験を、19名の隊員にのびのびと楽しんでもらうことができました。



また、紀伊風土記の丘の散策では、暑い中での山登りにもまげず、歴史を学びました。  
 ホームステイ先での交流は、子どもたちにとっても、ホストファミリーにとっても楽しく良い思い出となったようです。(実施団体:海友会和歌山ブロック)

**日高地方** 平成20年8月8日～10日

農家のお宅で泊めてもらい、清流でのアマゴのつかみ取りや流しそうめん、農家での“農業おまかせ体験”等、隊員48名は非常に楽しそうにしていました。

何より農家の方と子どもたちが本当の家族のように接していたことが印象的で、別れを惜しむ姿がみられ、手紙のやりとり等の交流が続いているようです。



(実施団体:ゆめ倶楽部21)

**夏休みに新しい友達づくり**

**海草地方** 平成20年8月22日～24日

のかみふれあい公園で、パークゴルフや天体観測、動物とのふれあいを体験し、漆器伝統会館では伝統文化にふれながら漆器体験を楽しみました。46名の隊員は、黒江小学校、紀美野町文化センターに宿泊し、班に分かれて行動したことで結束も固まりました。



(実施団体:海草地方青少年育成推進委員等連絡協議会)

**西牟婁地方** 平成20年8月5日～7日



丹生ヤマセミの郷で宿泊し、川での水泳や天体観測、竹を使って自分のコップや箸を作る等プログラムを勧める中で、県内各地から集まった40名の隊員はすぐに打ち解けて、助け合いながら活動することができました。

(実施団体:上富田町青少年育成町民会議)

**春休みに楽しい思い出づくり**

<p><b>那賀地方</b> 平成21年 3月20日～22日</p>	<p>岩出市・紀の川市で、ホームステイを体験。根来げんきの森ハイキングや、間伐材の学習・間伐材を使った工作、青洲の里・緑化センターを見学します。                  (実施団体:海友会和歌山オーストリ青年交流実行委員会)</p>
<p><b>伊都地方</b> 平成21年 3月20日～22日</p>	<p>かつらぎ町・九度山町・高野町で活動し、県立紀北青少年の家に宿泊。紙すきや林業体験、高野散策では精進料理を食べ、文化を学びます。                  (実施団体:紀北青少年の家運営協議会)</p>
<p><b>有田地方</b> 平成21年 3月20日～22日</p>	<p>湯浅町・広川町で活動し、白崎青少年の家に宿泊。そば打ちや太鼓、イチゴを収穫してのジャム作りを体験。広川町で多く見られるホタルについて学びます。                  (実施団体:有田地方青少年「元気と歌山」未来づくり事業実行委員会)</p>
<p><b>東牟婁地方</b> 平成21年 3月25日～27日</p>	<p>新宮市で、旧屋敷小学校に宿泊。自然観察やパン・ピザ作り、農業体験をし、大自然の中で遊んで生活することで、のびのびとした楽しみ方を学びます。                  (実施団体:NPO共育学舎)</p>

## 「少年メッセージ2008」和歌山県大会 第30回記念大会

県内の中学生が、日々の生活の中で何を感じ、どのような想いを抱いているのか…  
8月2日(土)上富田文化会館で中学生による作文発表会を開催しました。



アトラクションでは市ノ瀬芝居保存会(三番叟)の皆さん、近野獅子舞団の皆さんが活躍してくれました。

毎年、子どもたちが主役となり、盛り上げてくれる本大会は、多くの方々の協力と支援で成り立っています。

県内各地から12,095作品もの応募があり、2回の審査を経て県大会で発表する22名の優秀作品が選ばれました。

大会当日には350名を超える多くの方が聞きに来てくださり、発表者の緊張も伝わってくるものの、丹念に練習された堂々たる発表ぶりに、日々の成長をも見せつけられるかのようなようでした。

また、大会の司会進行では西牟婁地方ジュニアリーダーズクラブの皆さんが、



毎年、たくさんの方が聞きにきてくださるのをお待ちしております!!

### 少年メッセージ2008 優秀作品

賞	氏名	学 校	表 題
★ 金	なかむら あやね 中村 彩音	紀の川市立 貴志川中学校 3年	想いを音に乗せて—私が今できること—
★ 銀	いわはし かずえ 岩橋 和江	和歌山市立 東和中学校 2年	自己の生き方を考える
★ 銀	なかかわ はるか 中川 陽香	みなべ町立 上南部中学校 2年	「父からのメッセージ」
★ 銅	いりぐち なるみ 入口 成味	日高川町立 早蘇中学校 3年	「もったいない」精神
★ 銅	むかい 向井ひかり	太地町立 太地中学校 2年	この景色を守るために
★ 銅	みずもと えみ 水本 衣美	橋本市立 隅田中学校 3年	今考える事
特別	はなおか りか 花岡 理加	岩出市立 岩出中学校 3年	未来へ向かって
特別	みなみむら みく 南村 実紅	和歌山県立 向陽中学校 1年	存 在



紙面の関係で金賞作品のみの紹介となりましたが、中村彩音さんの作文の他にも、県内各地方から推薦のあった子どもたちの表情豊かな42作品を、まるまる1冊の文集にしています!!

ご希望の方にはお配りいたしますので、  
お気軽に当協会までご連絡ください。

## 金賞受賞作品

和歌山県から3年ぶりの全国大会出場となりました  
(青少年育成国民会議会長奨励賞受賞)

### 想いを音に乗せて —私が今できること—

紀の川市立貴志川中学校 三年 中村 彩音

冬の夜一ひとひらの雪を窓から眺め、私は大好きなピアノを弾いていました。その時電話が鳴りました。

「おじいちゃんが倒れた。」

母の焦った声と不安な瞳。私は祖父の容態が楽観を許さないのだと悟りました。祖父は脳梗塞と診断され、幸い一命はとりとめたものの、左半身に重い麻痺が残りました。

「休みの日にごろごろしていると、次の日、倍疲れるんだ。」

と言っては、まめに家屋の補修や庭の手入れに汗を流していた祖父。それが突然、車椅子での生活を余儀なくされたのです。食事やトイレなど、祖母の手を借りなければ一人で何もできなくなってしまいました。祖父は険しい表情でいることが多くなりました。きっと命が助かった喜びよりも、不自由な体になったことへの焦燥感や苦しみと一人で闘っていたのでしょう。その年の冬の寒さは例年に比べ、とてもとても厳しく感じました。

一年後、退院して自宅で療養する祖父に会いに行きました。

「今日は、おじいちゃんデイサービスに行く日なんよ。」

と嬉しそうに私を迎えてくれる祖父。その表情は以前の比ではなく、生き活きと生命力にあふれていました。祖父の回復には、祖母の寝食を忘れた手厚い介護が支えとなっていることは言うまでもありません。でも、祖父をこんなに明るく精神的な快方へと導いてくれたデイサービスとは、いったいどんなところなのでしょう。

デイサービスは、祖父のような要介護者を一日預かり、送迎から食事、入浴など身の回りの介護支援をするサービスのことだと知りました。有料ですが家族の負担も減り、体力維持の訓練もしてくれます。最近ではこれに音楽を取り入れ、心身を活性化させる試みもあるそうです。

「見学させて下さい。」

私はお願いをしてみました。施設の方が快く引き受けて下さったので、私もケアセンターにお邪魔しました。広いホールには一台のピアノが置かれていました。

「月に一回ピアノコンサートがあるよ。」

と祖父が教えてくれました。クラシックや演歌、童謡

にアニメソングなど、ボランティアの方が弾いてくれるそうです。

「私もピアノを弾きに来てもよいでしょうか。」

この日をきっかけに、私は月に一度、大阪にあるこの施設にピアノを弾きに行くことになりました。緊張して楽譜をなぞるだけのぎこちない演奏だったと思います。それなのに終わるとポロポロと涙を流し、

「若い頃の思い出の曲なんよ。」と手を握りに来て下さる方がありました。その手はとても温かかったです。

「このおばあちゃん、自分の名前も家族の名前も忘れてしまったけれど、この曲だけは歌えるんよ。」

介護士の方が教えて下さいました。今度は私の胸が熱くなりました。

私はここで大切なことを教わりました。人は一人では生きていけないということ。みんなで支え合って生きている、そしてその絆は家族だけのものではなく、社会に生きるすべての人と強く結びついているのだということ。私の弾くピアノが人の心を明るくし、生きる力となって支える手助けができる。そのことはまた私にとっても大きな励みであり、喜びでした。

今まで周りの人から支えられてばかりだった私ですが、そんな私にも社会の絆を繋ぐ一員として、できることがあったのです。人と人とのつながりが薄く、他人のことには無関心になりがちな現代社会の中で、少し外に目を向けてみると、私たち一人ひとりが社会のためにできることや、しなければならないことも見えてくるのではないのでしょうか。そして共に支え合って生きていく中で、人と人との心の絆が生まれ、生きる支えと喜びへとつながっていくのでしょうか。

祖父が倒れて三度目の春。暖かい春の到来です。今度はみんなが口ずさめる「花」を弾こう。私はこれからもずっとあの場所でピアノを弾き続けたいと思います。大好きなピアノの音に想いを乗せて一。



## 平成20年度 地域活性化支援事業

各地域における元気な活動をサポートしています。

### 街頭指導、巡回指導活動

田辺第二小学校校区協議会

校区内の街頭指導や巡回指導を、育友会や町内会長、民生児童委員等、各団体に協力して定期的に行っています。指導者とひと目で分かるように揃いの帽子や腕章を着用し、青少年の安全の確保や、健全育成に努めています。

### ウェルカム“アツキヨ”INカワハラ

六和会



聴覚障害のある女性と健聴者の二人で活動を続けているデュオ「アツキヨ」の講演と歌を聞く事で、

児童・保護者・地域住民が「夢をもち努力を続けること、人との関わりの中で支え合う事の大切さ」を学びました。

### 災害時の炊き出しを体験しよう

めだかの学校

子どもたちが震災体験者からの話を聞き、簡単な手当の仕方を学ぶとともに、様々な炊き出しの方法を体験することで、防災について関心を持ち、災害時に自分たちにできる事を考えるきっかけにしました。

### 伊都地方地域活性化支援事業

伊都地方青少年県民運動推進委員ブロック会議  
通学路に交通安全の看板や、朝食の摂取を呼びかけるのぼり旗



を設置することで、家庭・地域・学校・職場・行政が一体となって、青少年の健全育成に対する気運の高揚を図っています。

### 出前児童館はまっこクラブ

はまっこクラブ実行委員会

地域のボランティアの協力のもと、休日の学校を利用して体験学習やスポーツ活動、生産活動等、多くの遊びや学びを親子に体験してもらう事で、地域ぐるみで児童の健全育成を目指しています。

### 龍神地域ふれあい事業

田辺市青少年育成市民会議龍神地区協議会

地域・学校・家庭・各種団体等が協力し、子どもたちに地域探検や地域産業の学習等を体験させることで、郷土愛を育みながら、地域で子どもを育てる連携体制の確立を目指しています。



### 親子太鼓演奏教室

有田川町青少年育成町民会議

町内で活発に活動しているそれぞれの太鼓演奏団体から講師を招き、親子で一緒に汗をかいてリズムを楽しんでもらえる教室を開催しました。家庭での話題作りや、指導者の育成に貢献しています。

### 青少年丸栖地区交流会

紀の川市青少年健全育成推進協議会貴志川丸栖地区

新旧の住民が混在する地域で、一体となって団結して子どもたちを守り育てるため、バームクーヘンや焼きそばを作ることで交流の機会をつくり、子どもたちの安全や健全育成について実践に向けて話し合いました。



地域に根付いた団体にしかできない取り組みを

### 高校生による地域の情報誌づくり 高校生による地域の情報誌づくり実行委員会



青少年が自分の住んでいる地域に対する関心を高めるためのきっかけとして、高校生の目線で地域の情報誌をつくりました。作成された誌面を、多くの方々の目に触れる「和歌山タウン情報誌 アガサス」に掲載することで、地域の方の高校生に対する理解を深める機会にもなりました。

アガサスの編集長さんからの指導を受けながら、高校生が自分たちで記事にする内容を決め「高校生が教える必見スポット」と題して、お店の情報収集から取材まで、全て自分たちで取り組み、社会勉強を兼ねた事業となりました。

## 青少年育成地域指導者研修会

### 手品・工作・バルーンアート・スポーツチャンバラの体験研修

平成20年5月11日(日)にホテルシーモア(白浜町)において、青少年の健全育成に携わる指導者の方を対象に開催しました。

グループに分かれて4つのコーナーを体験してもらい、地域での子どもたちとの関わりや、様々な活動をする中で活かしていただくことを目的としています。大人も楽しめる内容で、参加者の方からは「楽しく勉強できた」とご好評をいただくことができました。



## 青少年育成市町村民会議等代表者会議



県内30市町村では地域と一体になって青少年の健全育成に尽力しています。

各市町村における組織の運営や、事業実施の際の課題等について協議し、情報交換を行うため、紀北・紀中・紀南の3地方に分かれて12月に開催しました。年に1度、お互いの取り組みと変化を知る事で、効果的に青少年の健全育成に取り組める体制をつくれるよう連携しています。

## 平成20年度 青少年健全育成県民大会～未来に羽ばたく和歌山の青少年～

### 大人と青少年 相互の信頼関係―絆―を築きあげることの大切さを改めて考えよう

平成20年11月6日(木)に県民文化会館において、全国青少年健全育成強調月間における運動の一環として、県民の青少年健全育成に対する理解と自覚の促進を図る事を目的に開催しました。

### 感動!!!で「生きる底力」を育む教育とは。

学校法人りら創造芸術学園 山上範子氏の基調講演の後、学園生徒によるタップダンスが披露されました。約400名の参加があり、夢を持って学習に取り組む子どもたちの姿を見る事で、青少年健全育成の大切さについて考えていただきました。



## 県民大会では各種表彰も行いました 感謝状及び表彰関係(敬称略・順不同)

### ◎青少年健全育成部門(個人)知事感謝状

坂井 和生(和歌山市) 金川 佳史(和歌山市)  
小林 宏正(紀の川市) 信定 ちづよ(紀の川市) 大江 隆之(紀の川市)

### ◎青少年健全育成部門(団体)知事感謝状

ボーイスカウト橋本第1団(橋本市・団委員長 中谷 和史)

### ◎青少年補導委員会部門(個人)知事感謝状

北山 賢一(日高町) 佐々木 健彦(日高川町) 西岡 諭(田辺市)  
濱口 温司(白浜町) 武田 春枝(新宮市) 剣持 幸代(新宮市)

### ◎善行青少年部門(個人)知事感謝状

大南 照悟(田辺市)

### ◎社団法人青少年育成国民会議会長表彰伝達

平井 侑子(紀の川市) ボーイスカウト那賀第1団(紀の川市・団委員長 妹背 佳美)

### ◎社団法人和歌山県青少年育成協会(個人)会長表彰

上野山 幸子(和歌山市) 坂口 雅代(海南市) 山下 充洋(田辺市)  
瀬田 幸次郎(田辺市) 清水 辰見(すさみ町)

### ◎社団法人和歌山県青少年育成協会(団体)会長表彰

和歌山児童合唱団(和歌山市・会長 岩橋 延直)  
NPO紀州お祭りプロジェクト(和歌山市・会長 西平 都紀子)

### ◎社団法人和歌山県青少年育成協会(団体)会長感謝状

社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会(和歌山市・理事長 藤田 昌之)

